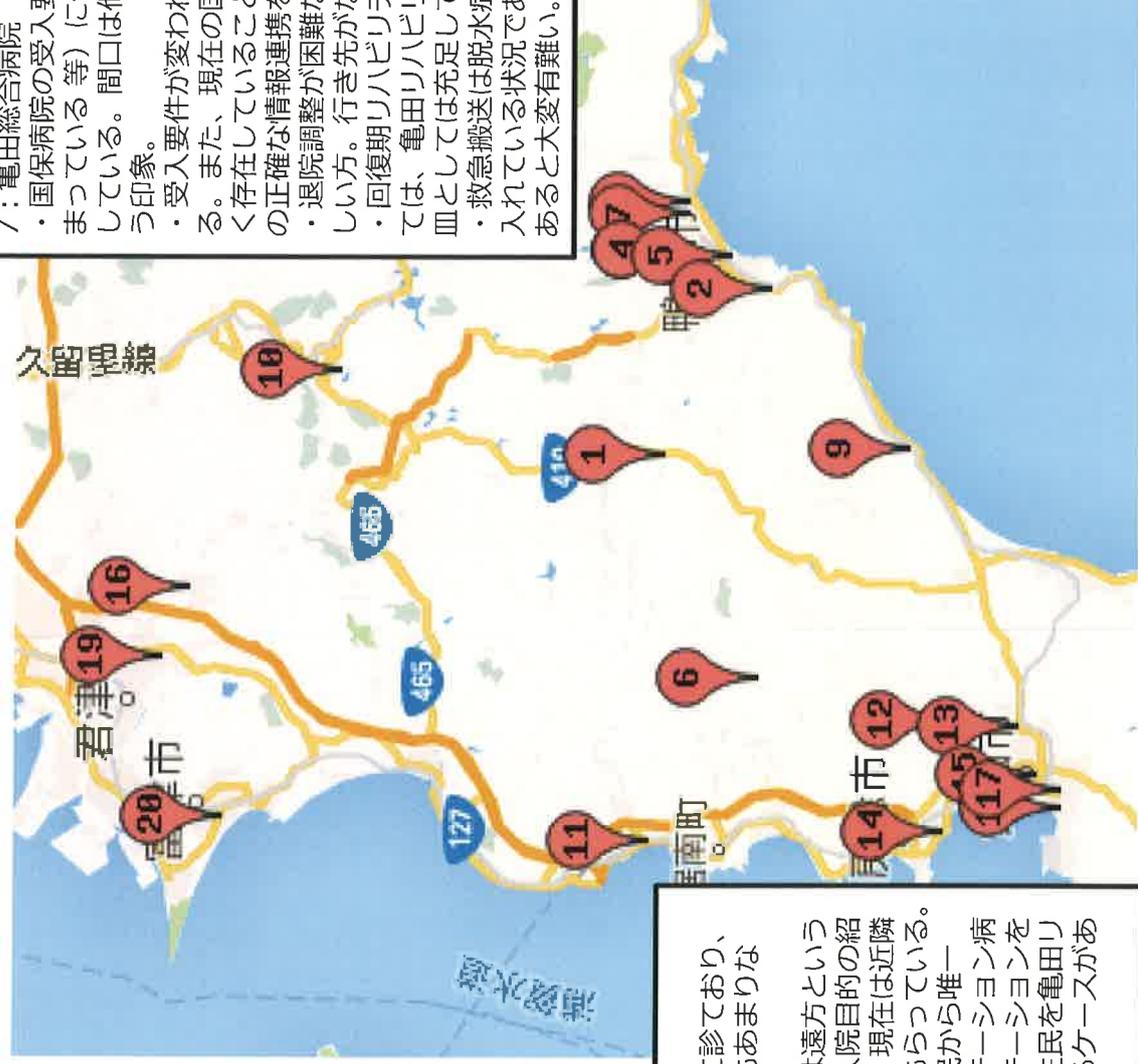


(参考資料) 11/5,6 ヒアリング結果



7: 亀田総合病院

- ・ 国保病院の受入要件 (その後の行き先が決まっている等) に合致している患者のみを紹介している。間口は他病院と比較しても狭いという印象。
- ・ 受入要件が変われば紹介したい患者は多くいる。また、現在の国保病院療養病棟に空床が多く存在していることを把握しておらず、空床等の正確な情報連携を行なっていない。
- ・ 退院調整が困難な患者としては、金銭的に厳しい方。行き先がない状態となっている。
- ・ 回復期リハビリテーション病棟対象者については、亀田リハビリテーション病院のみで受け皿としては充足している。
- ・ 救急搬送は脱水症等の軽症患者も当院で受け入れている状況であり、2次救急を担う病院があると大変難しい。

13: 安房地域医療センター

- ・ 南房総市、館山市の患者を中心に診ており、鴨川市の患者は少ない (救急搬送もあまりない)。
- ・ 近隣住民の方々にとって鴨川市は遠方という印象があり、後方病院として長期入院目的の紹介は現実的ではないと考えられる。現在は近隣の療養病院でなんとか受け入れられている。
- ・ 鴨川市の後方病院として近隣住民から唯一ニーズがあるのは回復期リハビリテーション病棟を有する等、専門的にリハビリテーションを提供する病院である。現在も近隣住民を亀田リハビリテーション病院等に紹介するケースがある。しかし数自体は多くはない。